

【GIGA×指導の工夫・改善】クラウド上の学習データを活用した児童の学習状況の可視化と見取り

＜考察＞

総合的な学習の時間で探究的な学びを進めていく中で、児童の思考を瞬時に見取り、適切に評価することは、困難なことである。そこで本校では、総合的な学習の時間（4年生「木下の伝統文化を紹介しよう」）において、児童が作成したプレゼンテーションソフトをクラウド上に集約し、発表内容を可視化する取組を行った。

まずは、担任がクラウド上の共有フォルダを作成し、そこに、グループごとに児童が作成したプレゼンテーションソフトを集約させた。さらに、共同編集ができるように設定し、グループのメンバーおよび担任が随時編集できるようにした。

次に、プレゼンテーションソフトのスピーカーメモ機能を使って、児童が話す言葉を自分で入力し、視覚化するようにした。

そうすることにより、担任が授業後に自分の端末で発表内容をじっくり確認することができ、児童へのアドバイスを朱書きで入力するなど、具体的な指導・支援を行うことができた。また、次時の授業の導入で、児童が前時の振り返りをする際に、改善方法をよりイメージしやすくなり、発表会に向けて、より洗練された発表内容へ改善することができた。

これらのことから、クラウド上での学習データの共有は、児童の学習状況の的確な把握（見取り）に有効であったと考えられる。

【実践事例】4年 総合的な学習の時間「木下の伝統文化を紹介しよう」

クラウド上に共有のフォルダを作成し、そこに、児童がグループごとに作成した発表資料（プレゼンテーションソフト）を集約させた。さらに、共同編集ができるように設定し、グループのメンバーおよび担任が随時編集できるようにした。



クラウド上にプレゼンテーションソフトを集約させ、共同編集ができるよう設定した。

また、プレゼンテーションソフトのスピーカーメモ機能を使って、児童が話す内容を入力し、可視化した。授業後、その内容について、担任からのアドバイスを朱書きで入力することにより、次時に発表内容を改善することができた。

児童の発表内容を可視化した。担任からのアドバイスは色をつけてわかりやすくなった。

別所の獅子舞（ししまい）はこの（ゆびなどでさす）別所の金龍寺宝泉院地藏寺（べっしょのきんりゅうじほうせんいんじょうじ）で行われています。
別所という場所は、木下小学校から車で5分ぐらいのところですよ。